

## 令和4年度 春日山原始林・奈良公園フィールドワーク 第4回 概要報告

奈良教育大学研究員 杉山 拓次

実施日：2022年8月13日（土）7:00～11:00

参加者：10名

学生：6名

教職員：杉山、中城、藤田

その他（中学生）：2名

### ■実施場所：春日山原始林

### ■第4回 朝の春日山原始林（春日山遊歩道北部）

概要：朝の気持ちの良い空気の中、春日山原始林を歩きます。真夏であっても森の中の空気はひんやりとしています。木々の葉が生い茂り木漏れ日の中を歩きながら、森の気持ちよさや、不思議なことなどをそれぞれで見つけ、共有しながら、森の楽しみ方を考えます。

7:00 春日大社国宝殿前集合

7:20 水谷神社

7:40 春日山遊歩道（北部）

7:50 五感の体操～遊歩道を歩きながら樹木等の観察

8:30 植生保護柵の観察

9:10 ルーペを使って小さいものを観察

9:20 アクティビティ「オノマトペを探そう」

10:20 折り返し

10:35 見つけた「オノマトペ」を共有・ふりかえり（月日亭休憩舎）

11:00 終了・解散（月日亭休憩舎）

### ■概要報告

早朝の春日大社国宝殿に集まり、朝の春日山のフィールドワークを実施した。当日は、少し曇りがちであったが風が少し吹いて涼しくもあった。今回は、大学職員のご家族（中学生）も参加された。

春日山原始林に入る前に、春日大社との関係性、歴史的背景について解説したのち、ゆったりと時間を使って時間を過ごした。冒頭、遊歩道入り口付近で「五感の体操」を行い、朝の森の涼しさや、川の音、蟬の声などを聞いた。その後、歩きながら気がついた植物や生き物などを紹介しながら、朝の空気を楽しんだ。通常通りの史跡等の解説などを交えながら、途中からルーペを使って苔などの観察の時間を持った。時間を7:00～11:00と余裕を持ったことで、それぞれがゆっくりと森の中でいろいろなものを観察することができた。

ルーペを使って小さなものを観察する時間を持ったあと、参加者には森で見つけられる「オノマトペ」を探して、書き出すというお題を出した。

森の中で聞こえる音や、苔の手触りなど、オノマトペをそれぞれ渡した用紙に書き出しながら、森の中を散策した。

生き物では、オオセンチコガネやサワガニ、マムシなどが見られた。その他、キノコや変形菌なども

観察することができた。

森の中は終始涼しく、風が気持ちよかった。一時雨も降ったが、夏の木々に覆われた状態であったためほとんど濡れることなく雨音に耳を傾けるなど、雨も楽しむことができた。

最後の振り返りでは、見つけたオノマトペを共有「ふわっふわっ」「さらさら」など様々なオノマトペの紹介があった。

## ■写真



水谷神社の解説



五感の体操



森の遷移に関する解説



ルーペを使って観察



マムシ



オノマトペのふりかえり